

“白バラ”は
明るい選挙の
シンボルです。



選挙季報

第90号

発行 新宿区選挙管理委員会・新宿区明るい選挙推進協議会 〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-5-1 ☎03-5273-3740 Fax03-5273-5230
ホームページ ● <http://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/index10.html> ツイッターアカウント ● @shinjuku_senkan (新宿区選挙管理委員会)

小・学・校・向・け・出・前・授・業・の・実・施

平成25年に、東戸山小学校1校から始まった小学校の選挙出前授業は、その後順調に実施校数を伸ばし、今年度は23校で行いました。

出前授業の内容は、選挙に関する講義と、実際に児童が投票する模擬投票です。

模擬投票ではテーマを定めて投票をします。始まった当初は「最後の給食総選挙」が人気のテーマでしたが、最近では児童が考えた理想の新宿区を作るための政策や、自分たちの住んでいる地域をよりよくするために考えた政策をテーマにした模擬投票が増えてきました。今回は今年度に行われた出前授業の中からその一部をご紹介します。



西戸山小学校 令和元年9月6日(金)実施
「新宿区をよりよいまちにするために総選挙」



東戸山小学校 令和元年9月12日(木)実施
「こんな公園を作りたい! 理想の公園選挙」



柏木小学校 令和元年9月26日(木)実施
「新宿改革総選挙」



落合第四小学校 令和元年10月5日(土)実施
「落合地区議員選挙」



戸塚第一小学校 令和元年10月17日(木)実施
「戸塚地域を幸せにする総選挙」

各地域での選挙啓発 ～地域センターまつり～



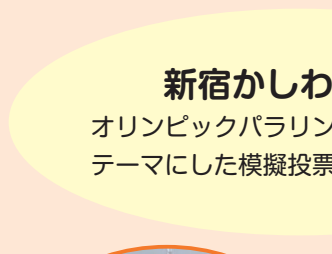
戸塚地域センターまつり
啓発物資の頒布をしました。
右に左に大忙しです。



榎町地域センターまつり
選挙クイズで盛り上がりました。
回答者は抽選機を回します。



若松ふれあいまつり
小学生の考えた政策をもとにした
模擬投票を行いました。



新宿かしわまつり
オリンピックパラリンピックを
テーマにした模擬投票を行いました。



わいわい広場
シールによる投票を行いました。
各候補の主張を皆さん興味深く見て
いました。

はたちのつどい 祝 における選挙啓発活動



令和2年1月13日、新たに成人となられた方々を祝う「はたちのつどい」が京王プラザホテルにて開催されました。今年の新宿区の新成人は4,266人。晴れやかな衣装に身を包み、同級生との久しぶりの再会に喜ぶ姿も見受けられました。



毎年恒例の「選挙啓発ブース」では、選挙に関するアンケートや、投票立会人の申し込み受付、選挙啓発用ポスターモデルの写真撮影を行いました。また毎年好評をいただいているお楽しみ抽選会コーナーは大きな盛り上がりを見せました。新成人の皆様、お立ち寄りいただきありがとうございました。

相模原市中央区・新宿区

明るい選挙推進委員交流会の実施

令和元年12月13日(金)新宿区教育センターにおいて、相模原市中央区と新宿区の明るい選挙推進委員の交流会がありました。お互いの事業内容の発表や、新宿区の啓発事例を紹介した後、班に分かれてグループ討議が行われました。討議のテーマは「若者が選挙に行くようにするためには」協議会の発展について」でした。討議ではお互いの実体験に基づき活発な意見が交わされ、それぞれの相違点や共通した点が明らかになりました。参加した委員からは「この自治体でも若年層投票率の低下が問題になっているのがわかった。話し合った意見を今後の啓発活動に生かしていきたいと思います。」等の意見がありました。



令和元年度 明るい選挙推進委員

特別研修の実施

今年度の特別研修は、戸塚地域センターにて、令和元年11月26日(火)に行われました。講師は、新宿区立西新宿小学校校長の清水仁先生です。講義の内容は選挙の出前授業について、ご自身の経験を交えてお話しいただきました。平日にもかかわらず、会場はほぼ満席となり、先生との質疑応答では、活発な意見のやり取りがありました。



西新宿小学校長・清水 仁先生

東京都

明るい選挙推進大会への参加

今年度の東京都明るい選挙推進大会は、府中の森芸術劇場どりーむホールで令和元年11月5日(火)に行われました。時事通信社政治部長の水島信氏を講師に、「日本政治の行方」についての講演がありました。新宿区からは、16人の明るい選挙推進委員が参加しました。また行き帰りの車内では、啓発をより効果的に行うための学習として出前授業に関するDVDを視聴したり、お互いの地区の情報交換を行いました。

選挙よもやま話

獲得票数が同じ場合はどうなるの？

一回に何万、何十万の票が投じられる選挙ですが、もし当選人の得票数が同じだった場合は、どちらの候補が当選するのでしょうか？
この場合は公職選挙法の規定により、当選決定の最高責任者である選挙長が、くじで当選人を決めることになっています。

昨年4月に行われた統一地方選挙では、全国で4件のくじ引きによる当選人決定がありました。また、同数ではなかったものの、当選した選挙人と落選した選挙人の票差が、一票以下の選挙が16もありました。

あと一票が投じられていたら当選の結果が変わっていたかもしれない。そんな一票の大切さを感じ取れる統一地方選挙でした。みなさんもお自身の一票を大切にしましょう。



くじに使用される「くじ棒」

おめでとーございませう (敬称略)

永年功労者表彰(東京都)
普通表彰(10年表彰)

竹内 稔(落合第一地区)



「57年前の東京都知事選挙」から

今年(2020年)7月24日～8月9日は東京オリンピック、8月25日～9月6日は東京パラリンピックがそれぞれ開催され、世界各国から集まった最高のアスリートたちによる熱戦が繰り広げられます。

その直前の7月5日(日)には、東京都知事選挙が執行されます。ここでは、アスリートならぬ候補者たちによる熱い戦いが繰り広げられることでしょう。

前回の東京五輪は1964年(昭和39年)に開催されましたが、その前年の1963年(昭和38年)には東京都知事選挙が行われています。今回は「57年前の東京都知事選挙」にスポットを当ててみたいと思います。

当時の東京の政策課題

当時、東京には人口が集中し、1962年(昭和37年)には東京都の人口が1000万人を突破しました。一方で、人口集中に伴う問題が顕在化してきます。

このころ大きな問題となっていたのが「安定的な給水」の問題でした。東京はもともと人口集中によって水の需要が増えていたところに、1960年(昭和35年)から1962年にかけて、東京の降水量は平年の約半分という事態に直面し、水源地のダムは底をついてしまいました。「水きさん」とも呼ばれたこの状況に対応するため、東京都は給水制限を行います。1964年8月にはついに45%の給水制限が実施され、「東京砂漠」という言葉も生まれました。東京都知事選挙の候補者(また、同時に行われた東京都議会議員選挙の候補者も)はこの「水きさん」対策に言及しています。その他、後に高度成長の「負の側面」とされる河川の水質悪化・下水道整備や交通事故の問題などがこの選挙の争点となっていたようです。

当時の選挙啓発は？

当時も投票日周知などのため、東京都選挙管理委員会による啓発事業が行われていました。中でも、当時人気があった双子姉妹の歌手「ザ・ピーナッツ」が「一日都選管委員長」に委嘱され、棄権防止を呼びかけました。その他には「音楽隊のパレード」や「花火の打ち上げ」もあったようです。今とはずいぶんと趣が違いますね。

明るい選挙推進委員

地区懇談会

令和元年10月以降、四谷地区、大久保地区、落合第一地区、落合第二地区で、明るい選挙推進委員が集まり意見交換をする地区懇談会が行われました。

参議院議員選挙の

振り返りや、選挙啓発について話し合いが行われ、今後の選挙に生かすための意見が活発に交換されました。



落合第一地区の懇談会

編集後記

このメンバーによる選挙季報の編集も今号で最後となりました。思い返せばこの間に新宿区長選挙、新宿区議会議員選挙、参議院議員選挙の3つの選挙がありました。これらの選挙を投票率の面からみると、残念な結果だったように思います。

さて、今年(東京都知事選挙が7月にあります。オリンピック前という時期も相まって関心度の高い選挙となりそうです。投票率を上げるために、引き続き選挙啓発に努めてまいります。お読みいただき、ありがとうございました。



編集長 原 敏 治(柏木地区)
副編集長 小倉 稔(若松町地区)
編集委員 萩野 弘 子(四谷地区)
編集委員 神谷 順 子(笹荷町地区)
編集委員 深井 三代子(榎町地区)